大手前新聞

創　刊
2018年(平成30年)
佐伯市役所
大手前開発推進室
☎0972-22-4623

大手前開発事業プレイベント

開館へ向け わくわく始動

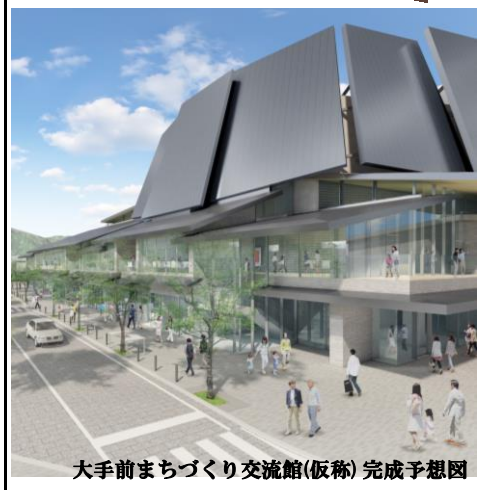
9月7日、大手前まちづくり交流館（仮称）の開館へ向けたプレイベントの一環として、「わくわく大手前隊主催のせんべろ」が行われました。

この日は、あいにくの天候により、会場を当初予定していた屋外の「大手前野外劇場」から屋内の「よろうや仲町」に移して開催されました。

会場変更により、イベントの目的達成が心配されましたが、100人を超える参加者の熱気により、嬉しい意味で主催者の期待を裏切る結果となりました。

参加者は、「せんべろ」メニューとして用意された料理や飲物を片手に、大手前まちづくり交流館（仮称）完成後のまちづくり談義に花を咲かせながら、市民アーティストによる楽器演奏やギターの弾き語りに酔いしれました。

同日のうまいもん通りや新町通りの賑わいにも一役買ったイベントとなったのではないでしょうか。


大手前まちづくり交流館(仮称) 完成予想図

「わくわく大手前隊」って?

大手前まちづくり交流館（仮称）完成後、市民団体等による活発な施設利用やイベント開催等が行われるような「わくわくするまち佐伯」を目指して、開館前から以下のことを市と連携して活動している市民協働団体です。

- プレイベントの企画運営
- 施設利用規則の検討
- 広報宣伝活動
- 隊員拡大育成
- 開館後の市民組織検討

わくわく大手前隊
曽根田 敏治 隊長

『わくわくの輪を広げてもっと佐伯を楽しく』

大手前まちづくり交流館（仮称）を活かせるかどうかは、市民一人一人の創造性にかかっています。私たちは、そうした創造力を伸ばしつつ、新しい施設創造のためには、こんな使い方ができるのか？そこで早速、その使い方を試してみようと「せんべろ」を企画したり、今なぜ文化会館では、そんなイベントができないのか？などなど、新しい施設に期待すること、あるべき姿について議論しています。

人が集えば、たくさんの「できること」が増えていき、新しい「やりたいこと」を生んでいきます。私たちは、皆さんの「わくわく」を歓迎しますし、求めています。

隊員募集！
一緒に「わくわく」しましょう！

工事現場

「建築工事」

約3か月に及んだ杭打ち工事も9月11日に完了し、いよいよ建物の基礎工事に着手します。

現在は、その前段の排水対策工事や掘削箇所の仮設工事（矢板打込）の施工を行っています。

「道路工事」

建築工事と並行して大手前まちづくり交流館（仮称）周辺の道路工事を行います。10月中旬頃から南側（あなみ回転焼からマルショク佐伯店までの間）の工事に着手します。皆様には交通規制などご迷惑をおかけいたしますが、引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。

選考委員会の様子

名称選考始まる

9月12日から応募が始まった「新しい建物の名称」第1回目の委員会（委員6人で構成）を開催しました。

10月末を目標に応募作品を数点程度に選考します。

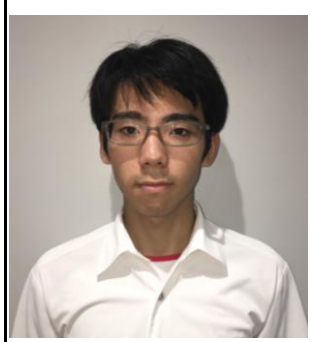
佐伯がいちばん！

私たち高校生は、大手前地区が活気に満ちあふれていた頃を実際に見たことがありません。私は、大手前といえば閑散とした寂しい所と感じていましたが、この開発事業を聞いたときにはとても嬉しく思いました。

▲昭和59年頃の大手前

このような社会情勢の中、私は、「わくわくする佐伯市へ向け、それぞれが持つわくわくによりそれぞれの大手前」を目指すことを中心に共感を生んでいくことが、わくわく大手前隊」に入会しました。高校生の私には難しいこともあります。地元佐伯の高校生も多く苦労することも多くありますが、これからも隊員としての活動を続けていきたいと思っています。

今後も大手前開発とその中心施設である「大手前まちづくり交流館（仮称）」の建設を高校生独自の目線で応援していきます。


大分県立佐伯豊南高等学校
総合学科 3年
岩井 駿空